

子どもにツケをまわさない！

無所属 35歳 本人 戸田市議会議員

すがわら文仁

レポート vol. 36

討議資料 発行 すがわらふみひと 戸田市美女木 8-21-6 TEL/FAX 048-422-1673

HP sugawarafumihito.com メール sawayaka@sugawarafumihito.com



※すがわらレポートは、定期的にお配りする気軽な新聞です。

日本の外交力低下を憂う

暑過ぎた夏が終わり、秋も深まって紅葉が美しい季節となりました。皆様ご健勝のことと存じます。

さて、厳さを増す経済情勢に加えて、尖閣諸島問題、普天間、円高、雇用、格差、年金、医療、介護、政治とカネの問題、公務員制度改革等々、課題は山積みです。しかし昨年の政権交代の期待に反し何も進んでいない菅政権の体たらくに、国民の政治に対する感情は、怒りを通り越して呆れ、諦めの状況になってきているのではないのでしょうか。

私が今回、特に情けないと感じたのは、やはり尖閣諸島問題です。尖閣諸島は歴史的にも日本の領土であるのは明らかです。中国漁船は領海侵犯、密漁、密入国、公務執行妨害、器物損壊罪といった犯罪行為を行いました。しかし政府は中国側の邦人拘束やレアアース輸出停止といった政治的圧力に屈した形で、逮捕した船長を処分保留のまま釈放し、国際社会に日中の領土問題であるような印象を与えてしまいました。挙句に謝罪や損害賠償まで請求される始末です。

国際交渉の常識は、少しでも相手につけ入る隙を与えれば、同時に攻撃の材料も与えるというのを忘れてはなりません。相手は兵法の国です。政府は柳腰ならぬ腰抜け外交で大失敗しました。このツケは大きいと思います。

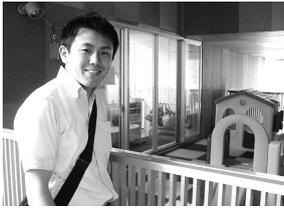
中国は、東シナ海の尖閣諸島のみならず、南シナ海のスプラトリー諸島、パラセル諸島でも領有権を主張し、核心的利益であると発表しています。中国の軍事費にも表れるように、それはまさに「膨張主義」であり、いざとなればどんな軍事行為も辞さない準備を進めています。私たちは中国が膨張拡大の野望を抱いている国だということ忘れてはなりません。毅然とした態度で、どんな圧力にも屈しない覚悟と行動をとらなければ、いざれ沖縄までも領土を主張するでしょう。この危機的状況に、多くの国民は早く気付かなくてはならないと感じます。

確かに、貿易相手としての中国は日本にとつて、切っても切れない関係になつて

ます。しかし、国益≠経済カネだけなのでしようか。私は、日本人としての「誇り」や「名誉」といった、もっと大事なものがあろうと思います。国家の3要素は、領土、国民、主権です。これを忘れてしまつて、お金よりも大切な「価値」を捨ててしまつたならば、日本民族は本当に衰退の一途をたどつてしまいます。

私は昨年、特攻隊の出発地、鹿児島県知覧を自費視察(戸田市にはあまり関係ないという理由で)して参りました。そこでは、二十歳にも満たない若者439人が飛び立ち、命を散らされました。絶筆には、日本の後世を案じた辞世の句が数多くありました。散つた英霊は今の日本人を見て、どう感じているのでしょうか。これまで我が国を築いてきた私たちの先祖や先人に申し訳が立たないと感じます。

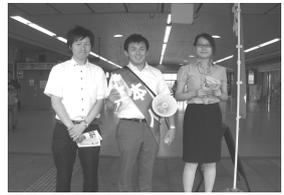
国会議員は、外交、防衛という国会議員にしかできない「国を護る」ことをどう考えているのでしょうか。対ロシアへの北方領土返還要求も含め、もっと気概を持つて取り組んでもらいたいものです。



6月18日(金)江東区【保育園の視察】待機児童問題解消の切り札となる「おうち保育園」の取組みを視察。1-2歳児に特化し、コストをかけず、空き物件を活用した新しい保育制度です。



7月22日(木)三鷹市【都市計画を視察】積極的に用途地域の規制と緩和を行うことでまちづくりを誘導する三鷹市の制度を視察しました。



8月8日(日)戸田公園駅【駅頭キャンペーン】市政報告を、後輩の学生インターン生に体験してもらいました。二人とも初めての経験。私も刺激になりました。



9月10日(金)本会議【一般質問】公文書の管理、情報公開、行政財産の活用について一般質問。またもや、35分間の質問時間のすべてを使い切りました。

駅立ち500日、達成しました



私が市議会に初当選させていただいてから、間もなく六年が経過します。

私は、世襲の政治家ではありません。いわゆる地主の息子でもありません。ジバン(後援会)、カンバン(知名度)、カバン(おカネ)はありません。

しかし、努力と志さえあれば、政治は変えられると信じて、継続的に駅頭に立ち続け、自転車政策を訴え続けて参りました。先日ののくらしい駅に立ったのかを確認したところ、六年で五〇〇日を達成しておりました。

本当に多くの皆様にお支えいただき、ご指導を賜り、議会の中でしがらみや馴れ合いとは無縁で活動することが出来たのも、激励してくださる市民の皆様がいたからです。

今後とも、政治家を志した初心と自分の政治哲学を曲げません。

選挙の前だけ現れるような、「ごまかしの政治家」とは一線を画して、これまで通り、市民と直接対話し、政治の現場に活かす真摯な態度で、政治にチャレンジしていきたいと思っておりますので、さらなるご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



第3回定例会報告

議決概要

9月1日～9月24日

平成22年第3回定例会では、市長提出の議案82号～93号、委員会提出の議案6号、決算認定1号～17号が質疑と各委員会の審議を受け、可決されました。

主な市長提出議案の議決

84号 賛成	訪問看護ステーション条例の改正 以前より要望があった改善です。訪問看護利用料を1か月分まとめて支払うことができるようになります。																				
85号 賛成	火災予防条例の改正 個室型店舗(カラオケ店、漫画喫茶、など)の避難管理の法改正を受けて、規定を追加。戸田市は該当4件、うち未整備は1件。																				
86号 賛成	第4次総合振興計画基本構想および基本計画施策体系 平成23年～33年までの行政の最上位の基本的な構想と計画を議決。すがわらの提言により、実現した条例に基づいて、特別委員会が設置され、議案の審査が行われました。 私は、特別委員会の審議の中で、12の施策について意見を述べた上で「議決に「付帯決議」を付す事で、さらに磨かれた計画になる」と主張しました。しかし、残念ながら賛同者もなく、原案素通りの議決になりました。意見を残す意味から、賛成討論として、「議会の審査における様々な意見に十分に留意をして、執行に当たってもらいたい。施策の実行においては、部課のセクショナリズムに陥ることなく、柔軟性を持ち連携をとって、一つ一つの施策に当たっていただきたい。分野の部分や施策の部分については、さまざま出た意見をしっかりと肝に銘じて一つ一つの事業をやってもらいたい」と要望しました。																				
88号 賛成	平成22年度一般会計補正予算 補正額+135,779,000円→補正後44,823,217,000円 主な歳入(単位:千円) <table border="1"> <tr><td>財団)コンビニ交付導入支援事業助成金</td><td>13,000</td></tr> <tr><td>県)防犯のまちづくり補助金</td><td>2,902</td></tr> <tr><td>県)赤ちゃんの駅事業補助金</td><td>3,000</td></tr> <tr><td>県)自殺対策補助金</td><td>2,059</td></tr> <tr><td>県)緊急雇用創出事業補助金</td><td>12,661</td></tr> </table> 主な歳出(単位:千円) <table border="1"> <tr><td>コンビニ交付事業 全国のコンビニの端末で住民基本台帳カードにより、住民票、印鑑証明を発行する事業(手数料200円)全国4例目の取り組みです。市では、住基カードの利用促進のため、無料で発行されます。</td><td>45,685</td></tr> <tr><td>公共バス維持対策事業 国際航空バスの赤字路線に補助金を投入し、公共交通網を維持します。補助路線は、西川61(西川口駅～下笹目)、西川62(西川口駅～北戸田駅)で、縮小の上維持されます。</td><td>2,231</td></tr> <tr><td>けやき安全ステーション移設事業 氷川町会館新設に伴い、移設します。</td><td>17,861</td></tr> <tr><td>環境配慮型システム設置補助 補助が予算額に達した為の追加補正。</td><td>6,634</td></tr> <tr><td>小児救急医療体制運営事業 10月1日から、小児一次救急医療の夜間診療を、金曜日にも拡大。これで月～金の夜間小児救急体制が整いました。</td><td>2,000</td></tr> </table>	財団)コンビニ交付導入支援事業助成金	13,000	県)防犯のまちづくり補助金	2,902	県)赤ちゃんの駅事業補助金	3,000	県)自殺対策補助金	2,059	県)緊急雇用創出事業補助金	12,661	コンビニ交付事業 全国のコンビニの端末で住民基本台帳カードにより、住民票、印鑑証明を発行する事業(手数料200円)全国4例目の取り組みです。市では、住基カードの利用促進のため、無料で発行されます。	45,685	公共バス維持対策事業 国際航空バスの赤字路線に補助金を投入し、公共交通網を維持します。補助路線は、西川61(西川口駅～下笹目)、西川62(西川口駅～北戸田駅)で、縮小の上維持されます。	2,231	けやき安全ステーション移設事業 氷川町会館新設に伴い、移設します。	17,861	環境配慮型システム設置補助 補助が予算額に達した為の追加補正。	6,634	小児救急医療体制運営事業 10月1日から、小児一次救急医療の夜間診療を、金曜日にも拡大。これで月～金の夜間小児救急体制が整いました。	2,000
財団)コンビニ交付導入支援事業助成金	13,000																				
県)防犯のまちづくり補助金	2,902																				
県)赤ちゃんの駅事業補助金	3,000																				
県)自殺対策補助金	2,059																				
県)緊急雇用創出事業補助金	12,661																				
コンビニ交付事業 全国のコンビニの端末で住民基本台帳カードにより、住民票、印鑑証明を発行する事業(手数料200円)全国4例目の取り組みです。市では、住基カードの利用促進のため、無料で発行されます。	45,685																				
公共バス維持対策事業 国際航空バスの赤字路線に補助金を投入し、公共交通網を維持します。補助路線は、西川61(西川口駅～下笹目)、西川62(西川口駅～北戸田駅)で、縮小の上維持されます。	2,231																				
けやき安全ステーション移設事業 氷川町会館新設に伴い、移設します。	17,861																				
環境配慮型システム設置補助 補助が予算額に達した為の追加補正。	6,634																				
小児救急医療体制運営事業 10月1日から、小児一次救急医療の夜間診療を、金曜日にも拡大。これで月～金の夜間小児救急体制が整いました。	2,000																				

議員(委員会)提出議案の議決

6号 賛成	地方税法改正に関する意見書 地方税法の改正は毎年度、初めの日の前日(3月31日)に採決される為、専決処分にならざるを得ません。地方議会としては税条例改正を3月議会で審議できる配慮をもって採決してもらいたいという意見書です。
----------	--

平成21年度の決算認定の概要

21年度は約12億円の黒字。厳しい財政運営の中、比較的健全な経営が保たれています。

決算概要表(単位:円)

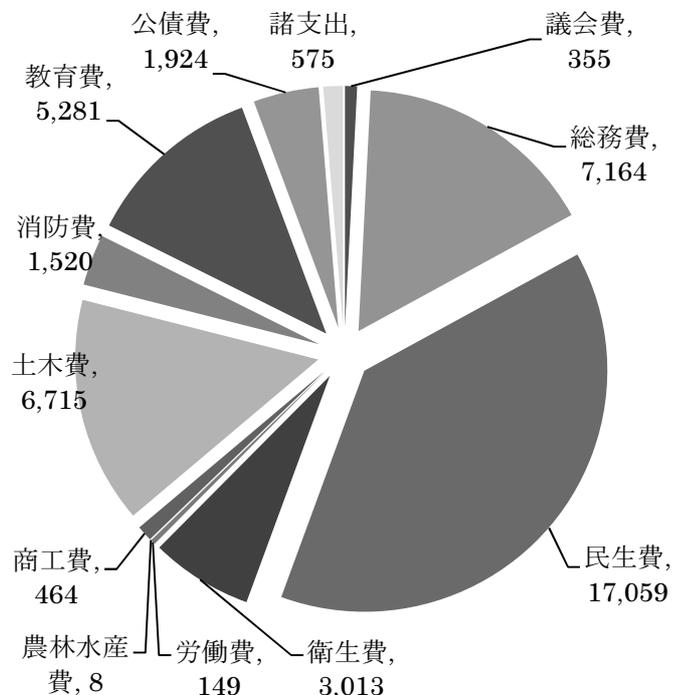
	歳入	歳出
一般会計	46,136,671,737	44,233,532,599
特別会計		
国民健康保険	10,833,104,560	10,415,864,002
公共下水道	3,266,780,214	3,175,615,766
学童災害共済	2,091,849	1,152,067
中小企業退職金	250,968,449	249,953,886
医療保険センター	566,530,520	513,302,454
交通災害共済	18,766,509	15,714,639
海外留学奨学	4,193,183	2,572,885
老人保険	69,658,843	48,977,627
火災共済	7,390,649	5,948,453
介護老人保健施設	592,826,344	553,864,904
新曽第一土地区画整理	2,820,705,910	2,677,482,132
新曽第二土地区画整理	473,030,671	445,671,686
介護保険	3,630,925,776	3,609,798,153
後期高齢者医療	727,088,769	694,278,004
在宅介護支援	136,004,568	118,600,623
合計	69,536,738,551	66,762,329,880

歳入歳出差引額 2,774,408,671円
(うち翌年度繰越の財源 162,221,772円)

実質収支額・・・1,244,717,129円

一般会計の目的別「歳出」決算状況

決算総額442億3千万円(単位:百万円)



※予算をどのような目的で使ったのかを示しています。

<http://twitter.com/sugawarafumi/>



twitter

ツイッターでも、たまにつぶやいています。

質疑①市税②保育料③市営住宅料④給食費の 収入未済額と不納欠損処分について

すがわらの質問	執行部の答弁
平成21年度から、市税の現年課税分の不納欠損処分を始めた理由はなにか。	収入未済額の圧縮に向け、滞納処分停止マニュアルを改訂し、即時消滅の規定に現年課税分を含める見直しを行うことで、処分停止の強化を推進したため。
保育料の収入未済額増加についての、今後の対策は。	今後は、滞納処分を含めた検討を行う。
市営住宅使用料の収入未済額が不良債権化している。処理方法を適正にできないか。	引き続き督促を行うとともに、今後は、適切な処理を検討する。
給食費の収入未済額増加について今後の対応は。	現在各校長に回収を依頼しており、今後、保護者への周知徹底をはかる。

※収入未済額＝納税義務があるのに納付されなかった税金の額
 ※不納欠損処分＝納税すべき税金が何らかの理由で徴収できず、今後も見込みがないために、あきらめる処理
 ※滞納処分＝市が、納付しない滞納者の財産を差押えなどすること
 ※処分停止＝滞納処分により、滞納者の事業や生活を維持することが著しく困難だと認められる場合に滞納処分を停止すること

すがわらの視点

「代表なくして課税なし」の言葉に象徴されるように、税は議会制民主主義の根源的なものであり、我々政治家は、無関心に陥ることなく、細心の注意を払い続けなければなりません。増税に対して監視しながらも、滞納を安易に許しては、モラルハザードにつながります。地方分権で真に自立した地方自治を実現するためには、今よりも公正な税や料金の収納事務が求められています。

(参考)平成21年度決算の収納率

個人市民税 (滞納含)	国民健康保険 (滞納含)	保育料	給食費
96.2% (87.9%)	82.2% (56.4%)	93.6%	98.2%

自治体の税金や使用料、利用料は支払わなければ、「債権」となり、それらは法律上3つに分類されます。

- ・強制徴収可能な公債権(市税全般、国保税、下水道料、保育料)
- ・強制徴収不可能な公債権(老人福祉費負担金、学童保育料)
- ・民法上の私債権(水道料金、市営住宅の家賃、給食費)

それぞれ根拠法に沿って適正に管理することが求められ、特に私債権は時効による債権の権利消滅がないので、会計の不透明性を増大させる恐れがあります。つまり、市民へのアカウンタビリティを低下させることにつながるのです。

質疑①市税では、滞納された税の内訳を伺い、不納欠損が適正だったのかを質しました。

質疑②保育料では、収入未済額が増加していることの指摘と、公平性の確保を質しました。執行部は、市税と同じように「滞納処分」を検討するという答弁がありました。

質疑③市営住宅使用料では、収入未済分を処理していないことで、不良債権化が進んでいることを指摘し、執行部はこれまでの適切でない処理を改める検討を行う事を答弁しました。

質疑④給食費では、収入未済額の増加を指摘。不納欠損処理が適正かどうかを質した。さらに毎年の不納欠損処分で帳簿上はクリアになっているが「債権」自体は台帳に残るので、大変大きな不良債権になっている事が予測されると指摘しました。

これら債権を適正に管理するためには、部署によるバラバラの債権の取り扱いを統一の規則で定めるなどした債権管理条例の制定などのルール化が必要です。今回、実態が明らかにすることができました。次回の質問で管理方法の提言をしたいと思います。

一般質問

①公文書の管理について

すがわらの質問・提言	総務部長の答弁
戸田市の公文書の扱いに関するこれまでの取り組みと成果を伺う。	本市はファイリングシステムを導入し、公文書の適正な管理に努めてきた。情報公開請求に対して紛失による文書の不存在決定はない。総合文書管理システムも導入し、電子決裁率も高まっている。
適正な文書管理とコンプライアンスの保持のためにも情報公開条例との車の両輪として公文書の管理の条例化や規則化について取り組んではどうか。	文書管理業務を効率的に運用する目的から、他自治体の状況を勘案しながら検討する。

すがわらの視点

年金記録問題、薬害肝炎の患者リストの放置問題、自衛隊給油艦の航海日誌の誤廃棄といった問題から、公文書の管理体制が問題視され、平成21年7月に公文書の適正な管理を規定した公文書管理法が成立しました。

民主主義では、主権者である市民・国民が最終的な意思決定を行います。そして適切な意思決定を行うための要素は十分な情報と議論であり、情報の宝庫である公の文書へアクセスできる権利が十分に確保されている状態が必要です。

情報公開法やその情報の管理方法を規定する公文書管理法の源泉には、憲法の「国民主権」や「表現の自由」あるいは「幸福追求権」といった理念を論拠とする国民の「知る権利」があり、それを満たす行政の「情報公開と説明責任」は、成熟した真の民主主義の実現の根幹をなす必要不可欠で極めて重要な責務です。

戸田市は、いち早く情報公開条例を制定し、「知る権利」を明記していますが、そのような視点からすれば、戸田市の文書管理は、現在、内部規則の位置づけであり、条例の目指す主旨のからも不十分と言えます。職員に公文書は市民の財産と認識させ、隠ぺいや、ずさんな管理を防止するためにも監視可能な仕組みの構築が必要です。

②会議と資料の情報公開について

すがわらの質問・提言	執行部の答弁
情報公開請求は意識的、金銭的、時間的、心理的ハードルがある。情報公開条例の理念や意思決定の透明性を図る意義から、執行機関の最高会議である「庁議」と「庁議の資料」、教育委員会の「会議資料」を、ウェブ等で公開すべきではないか。	(政策秘書室長) 公正で適正な意思決定や行政の円滑な執行に支障を及ぼす懸念があるので公開は適当でないと考える。(市長) どこまでできるかはこれからの課題とさせていただきます。(教育部長) 教育委員会として積極的に公開する方法の方向性を決定したい。

すがわらの視点

戸田市も以前より「開かれた市政」を目指しているが、その理念は貫徹されているでしょうか。先進市では庁議の公開を行っており、積極的に透明化をはかろうという姿勢がわかります。毎年施政方針で市長は「附属機関等の会議の公開」の充実と言及しています。市の最高意思決定会議、市の教育の最高意思決定会議は、やはり誰もがアクセスをはかれるようにしていくべきです。

市民生活常任委員会報告

水道料金の隠れ不良債権 7000 万円を明らかに！

質疑でも指摘した戸田市の不良債権の課題について、市民生活委員会の所管である水道料金について指摘しました。
すがわらは「不良債権の金額の詳細を明らかにしてほしい」と求めたところ、水道部長から「平成 15 年からの累積で約 7000 万円の水道料金の不良債権がある」と答弁があり、すがわらは「7000 万円の不良債権はこのままでよいはずはないので、債権管理の規定を作るべき」と要望したところ、「水道部として、何らかの対策を講じるよう検討する」との答弁がありました。

環境配慮型システム補助金は公平に！

太陽光発電やヒートポンプ給湯器、家庭用燃料電池など、様々な環境配慮システムに補助を行う戸田市。申請者の爆発的な伸びに対して、予算の見込みと一件当たりの補助金のバランスが悪いために、すぐに予算額に達してしまいました。今回、660 万円の補正予算を組んだが、これもすぐに枯渇してしまうと予測されます。(実際、10 月 5 日に終わってしまいました)
問題は、ある時期に申請した市民は補助を受けられて、それ以外の時期は補助が受けられない状態になっていることです。
すがわらは「予算には限りがある。環境配慮システムも十分に一般化してきた。来年度は一件当たりの補助金を見直し、より多くの方に補助が行き渡るようにすべき」と要望し、担当者からは「来年は幅広く行き渡るように検討する」と答弁がありました。

条例策定着々と。中小企業アンケートも終了！

ご回答いただいた皆様、ありがとうございました。

中小企業振興条例を策定する過程で、市内 3 経済団体のヒアリングを行うと同時に、アンケートを配布して、企業に現状について調査を行いました。調査結果については情報の特性上公開することはできませんが、大変厳しい経済情勢が浮き彫りになったと言えます。回収率 7.2% (214/2973 件)
今後は、これらの生の声をいかに条例の中に反映させていくのが焦点となります。今後何度となく委員会を開催し、条例を完成させていきますが、特に私が入力していきたいところは、市の中小企業振興に対する責任の明確化と、企業を育成する「仕組み」づくりです。全国の先進事例も参考にしながら、戸田市ならではの条例にしていければと考えております。

(仮称)西川 63 戸田公園駅～西川口駅のバス路線が新設されます！

国際興業(株)より利用ニーズの高い戸田公園駅から西川口駅までの区間を新設することになりました。開業は来年の 1 月中を予定しています。



(市民生活委員会資料)

活動を支えて下さい！

すがわら文仁は、政党や団体、企業の支援を一切受けず、志ひとつ、真正銘のゼロから政治活動を開始しました。
説明責任を果たすべく、目に見える活動を心がけておりますが、広報に関する活動費が著しく不足している状態が続いております。
すがわらのしがらみのない、真面目な政治活動を支えていただく、健全なご支援のカンパを募集しております。
公職選挙法により、カンパいただきました方は、ご一報下さいますよう、お願い申し上げます。

(振込先) 巢鴨信用金庫 西戸田支店 普 3 1 6 8 6 3 6
スガワラフミヒトサポーターズスガワラフミヒト

プロフィール すがわら文仁

昭和50年7月30日 生まれ 35歳

戸田市立美谷本小学校・美笹中学校・埼玉県立伊奈学園総合高校 卒業
日本体育大学 卒業 明治大学大学院 修了
公共政策学修士

【所属】 政党には所属していません 市民生活委員、議会改革特別委員
【選挙】 平成 17 年市議会議員選挙 1993 票 (2 位) 平成 21 年市議会議員選挙 4143 票 (戸田市歴代、1 位)

【資格】 教員免許 (体育・保健)
【座右の銘】 為せば成る (上杉陽山)
【夢】 努力した者が報われる社会の実現

【政策理念】
子どもたちの将来にツケをまわしません。
持続可能な循環型社会の構築を追求します。
行政施策のコストダウンと品質向上を目指します。
弱者への社会的包容力向上に取り組みます。
説明責任を果たして政治の信頼回復に努めます。

【これまでの成果】 公共施設等整備基金設立を実現して施設財源を安定化。職員・議員互助会への公費支出削減と廃止を実現。子どもの読書活動推進計画の策定を実現して読書教育を推進。病児・病後児保育施設を実現。青色防犯灯設置を実現して犯罪を抑止。財政年次報告書策定を実現して行財政を透明化。父子家庭の父にも職業訓練給付事業の拡大を実現。ネットいじめ根絶に関する決議を実現。入札に関する討論で入札事務を改善。予算編成方針に競艇収益の有効活用を明記。スポーツ振興基本計画の策定を提言して実現...等々

【活動】 上田きよし政治塾運営委員、埼玉坂本龍馬会幹事、戸田市体操協会会長、日本地方自治学会会員、日本自治体危機管理学会会員、若手政治家養成塾初代事務局長

【過去のメディア掲載など】
TV (スタ☆メン・フジテレビ報道番組 2007)
新聞 (読売・朝日・日経・毎日・埼玉 2006～09)
雑誌 (R25・人間会議 2007 夏号)
書籍 (ロストジェネレーションの逆襲・朝日新聞社)
高校副教本 (アクセス現代社会 2008・帝国書院)



編集後記

新総務相に片山善博前鳥取県知事が就任しました。これまでの大臣には、正直いって地方分権を進める強い意思が感じられなかったのですが、片山氏は改革派知事の中でも、パフォーマンスに走らず、いぶし銀の経験と実績を積まれた方でした。中でも知事時代に実行した「予算編成過程の公開」などは、私も戸田市議会でも強く訴えてきました。官僚主義を批判し、民主政治の原点ともいえる税や財政、統治について自治体レベルでの再構築を主張してきた片山氏。いわば人生ずっと自治の事を考えてきた方ですので、ぜひとも抵抗する霞が関官僚を上手に使いこなして、実のある分権改革を推進して、大きな成果を期待したいものです。

私が地方分権を訴えるのは、単に自分が地方の議員だからではありません。古来、わが国では幾度となく政治改革が行われてきましたが、上からの改革で成功した例は、大化の改新だけではないでしょうか。

今後、国会による政治改革の失敗で国民が「絶望」を味わう時が来るとすれば、最後の最後に「希望」となり得る政治改革が、地方分権による地方からの改革なのだと思います。事実、財政規律だけみても、国は政権交代してもなお、国債発行額の歯止めがかりそうもありませんが、地方債はここ数年、減少に転じてきています。税財源を地方に移管し、その地方の構造にあった税や分配の仕組みをつくり、住む住民が決めていく自治を地方から勝ち取るような政治の大改革が、中央集権、官僚主導の限界を突破し、強い地域、安定した国家を作るのではないかと思います。

しかし、もちろん課題もあります。政治という立場からすれば、地方分権に耐えられる人材が地方にあるのかという問題です。まだ地方政治は、市議も県議も地域の名士が議席を温めるような「名望家政治」が主流であり、職業として政治を志す者はごく少数にとどまっています。「13歳のハローワーク」のなりた職業ランキングによれば、政治家は 161 位 (前回 185 位) だそうです。しかし、誰かがこの割に合わない仕事に勇気や覚悟を持って取り組み、難局を乗り越えていかなければいけません。政治は好むと好まざるにかかわらず、私たちの家族や地域の未来だからです。

地方政治家が改革を推進するには、知恵と汗と覚悟が足りないというのが私の実感です。一方では働かない議会は、そのものの「不用論」も突きつけられています。大阪府議会や名古屋市議会はその先駆けなのかもしれません。いずれにせよ、地方政治は今、試されています。